



東京地区生コンクリート協同組合
 〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
 電話番号 (03) 3271-2181
 URL: https://www.t-namakyo.jp/
 発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(8月)

9日(土)～17日(日) 夏季休業
 25日(月) 理事会(No. 1243)

(9月)

8日(月) 理事会(No. 1244)
 22日(月) 理事会(No. 1245)



お子様の作文募集中!

本年も9月号に組合員従業員のお子さん・お孫さんの「夏休みの思い出」作文を掲載予定です。

皆様、奮ってご応募下さい。

※締め切りは8月25日(月)

応募者には薄謝を進呈します。
 詳細は、各社総務担当者または組合管理本部へ!

2025年度 第1四半期出荷実績と今後の展望

---出荷状況---

当協組の 2025 年度第 1 四半期出荷実績は、前年比 85.4% 年初計画比 88.1%の 577 千³m でした。11 ヶ月連続前年比割れ、年初計画数量に対しては大幅に下回りました。これは、建設作業員不足により都心部での再開発工事や新規工事に更なる遅れが生じ始めたこと、軽量コンクリートを含む特殊コンクリート用材料の不足や出荷制限で生コンクリート出荷が滞っていること、さらに、労働時間規制により現場施工時間が短縮傾向にあることなどが原因と推察されます。益明けまではこの状況が続くとみられ、現状から今後の展開は、上期は 1,200 千³m 程度と想定しています。但し、6 月末の契約残数量は前年 6 月末の実績を大幅に上回る 3,902 千³m の水準にあり、下期については、大手町・八重洲地区再開発工事や内幸町地区再開発工事など新規案件への出荷が始まる予定であることから、年初計画数量で推移するものと思われます。しかしながら、諸資材の高騰及び作業員不足の解消に有効な解決策は見当たらず、足元の出荷数量減に歯止めがかかっていません。更に物件の設計変更や建設計画見直しなど出荷数量に影響を及ぼす懸念も抱えています。

---制度変更(期間契約と新スライド)の現況---

2025 年 4 月 1 日からの、定価 25,000 円/³m への値上げ、更には従前からの取

り組みとしての販売価格の設定を「出荷ベース」にて「1 年間の期間契約」としたことに對しては、概ねご理解いただきました。

また、新スライドと価格改定の同時適用は、需要家の皆様には並々ならぬご理解をいただきました。新スライド適用については、一部説明不足や想定外の事案が発生していますが、今のところ大きなトラブルもなく運用しています。また、2014 年に戻りコンの有償化制度を導入し、さらに残コンについても 2023 年 4 月より有償化制度を実施し、戻りコン・残コンの削減を目指してきましたが、期待した効果が出なかったことから、本年 4 月より、取消料を改定しました。残コン・戻りコンについては、4～6 月(3 ヶ月)の実績によると、発生率 2.99% (前年実績対比: 3.62%) と減少傾向にあります。引き続き、戻りコン・残コン削減にご協力を切にお願いいたします。予定キャンセルについては、車輛の効率的運用の観点から大幅にルール改定をさせていただきました。ルール改定の為前年比較はできませんが、2 日前キャンセル及び当日数量減キャンセルが多い傾向となっており、輸送効率は依然として良好とは言えない状況にとどまっています。運送効率の改善に大きく寄与する予定精度の向上が不可欠であり、登録販売店様及び需要家様には、ご理解・ご協力をお願いいたします。

新任理事ご挨拶

佐藤 清治



本年 5 月 23 日開催の総会において理事に就任いたしました日本強力コンクリート工業株式会社の佐藤清治でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。はじめに自己紹介をさせていただきます。1970 年 12 月に熊本県植木町(現熊本市北区)で生まれ、福岡→宮崎→長崎と九州各地を転々とした後、埼玉県北本市を経て浦和市(現さいたま市浦和区)に移住しました。

趣味は春と秋の神宮球場での野球観戦(最近母校がめっきり弱くなりましたので球場からは足が遠のきネット観戦が増えましたが・・・)と北海道旅行(全盛期は毎月行っていました、コロナ禍以降は年 4～5 回くらいに減ってしまいました)です。

経歴については 1993 年 4 月に秩父セメント(現太平洋セメント)入社後、関連製品本部営業部→東京支店→関東支店→セメント商事→秩父太平洋セメント→北海道支店→東北支店→晴海小野田レミコン→大船渡工場(大船渡発電兼務)→上陽レミコンと、10 箇

所の事業所を渡り歩き、本年 5 月 11 日付で上陽レミコンと日本強力コンクリート工業の兼務発令を受け、5 月 20 日に日本強力コンクリート工業の専務取締役就任いたしました。職務経歴は、入社後の 3 年間物流業務を担当した後は、管理系業務全般を担当し現在に至っています。

生コン業界に関しましては、晴海小野田レミコン社勤務の他、支店業務部勤務時に直系生コンの集約等で関わらせていただきましたが、協同組合運営に参画することは初めてとなります。需要減少・原材料価格の高騰等業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、微力ながら生コン業界発展のため、東京地区生コンクリート協同組合の事業運営に積極的に参画してまいりますので、諸先輩方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます(日本強力コンクリート工業(株) 専務取締役)

	(出荷数量)				(引合、成約、契残)	
	7月(実績)		8月(想定)		7月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年実績比		前年比	
大型	175,268 m ³	83.8%	140,000 m ³	84.5%	引合	249,608 m ³ 138.3%
小型	23,333 m ³	85.5%	15,000 m ³	71.0%	成約	204,893 m ³ 132.5%
計	198,601 m ³	84.0%	155,000 m ³	83.0%	契残	3,938,930 m ³ 120.5%

JCI2025盛岡大会 第32回生コンセミナー 参加報告



技術委員会では、7月16日に開催されたコンクリート工学年次大会2025(盛岡)の第32回生コンセミナー「カーボンニュートラル社会の実現に向けて 生コン業界への期待」に、技術研修会として一ツ木技術委員長以下29名で参加しました。

生コンセミナーは2部制で開催され、第I部は生コン産業の可能性、及び、セメント業界を取り巻くGXの現状とカーボンニュートラルに向けた取り組みについての基調講演が行われました。東京大学 石田教授の基調講演では、「生コン産業の可能性—資源循環、生産性向上、インフラ高耐久化で築く持続可能社会—」の題で講演され、国

内外のセメント・コンクリート業界におけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みについて紹介されました。第II部では、学術者、生コン、セメント、施工会者の各立場から話題提供と質疑、会場を交えた意見交換を行うパネルディスカッションが開催され、話題提供において、全生連の草野氏から「生コン業界のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み」について紹介がありました。

改めて、当協組としてカーボンニュートラル実現に向けてどのように取り組んでいくべきか、考えさせられるセミナーでした。



2025年度

コンクリート主任技士合格体験記



小柳 幸弥さん
(むさしの生コン(株))

① 今回が初の受験だったため、有資格者の上司や先輩に相談をして、勉強期間を半年間に設定し、6月頃から勉強を開始しました。択一問題はひたすら過去問を解き、小論文に関しては文章を書くことが苦手であったため、出題されそうなテーマをいくつか絞り、1000文字程の論文を2~3個暗記して試験に臨みました。

会社や諸先輩方には、通信制のコンクリート主任技士対策講座を受講させて頂いたり、勉強時間が確保できるよう配慮して頂き、大変感謝しております。

② 後輩や新入社員が、技士・主任技士などの資格取得に向けて、積極的に挑戦できるような環境づくりとサポートをしていくと共に、私自身も更なるスキルアップに努めて参りたいと考えております。

③ コンクリート主任技士を取得したことに満足することなく、今後も知識と技術の向上に努め、地域社会に貢献できるよう日々の業務に励んでいきたいと思っております。



岩名 健吾さん
(株内山アドバンス)

① 私は52歳で初挑戦して3回目で合格となりました。経理部に20年ほど前から所属しており尚且つコンクリート技士取得から約30年経っておりましたので、当工場に勤務する若手社員の3倍勉強しなければ合格できないと感じていました。8月頃から月~金曜日は朝の就業時間一時間前に出勤して約30分、休日は図書館で中高生に交じり3時間ぐらゐ勉強していました。

また当社には技術センターがあり資格取得に向けたバックアップ体制が整っていて解らないことは教えてもらう事ができたので大変助かりました。

② 若手社員には資格取得のみならず失敗を恐れずにチャレンジして日常生活も含め充実した日々を送ってほしい。またそのような職場環境を作りたいと思っております。

③ 今後は特に地球環境問題の解決に貢献できるようにこの資格を活用していきたいです。

毎年この時期に組合員従業員でコンクリート主任技士試験に合格された方々の合格体験記をご紹介します。2024年



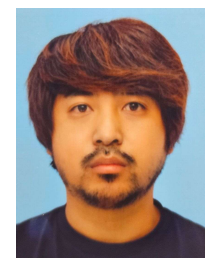
山本 篤さん
(東京コンクリート(株))

① 日々の業務に追われながらの勉強だったのでモチベーションの維持に苦労しました。しかしながら直属の上司からの指導もあり、苦手だった論文も試験本番では自信をもって臨むことができ、無事に合格する事ができました。

② 上司や諸先輩方にして頂いたように、私も後輩達がコンクリート技士・主任技士取得に向けて学びやすい環境づくりに貢献していきたいと思っております。

③ コンクリート主任技士取得で満足する事なく知識や経験を深め、コンクリート診断士や品質管理責任者など他の資格取得にも挑戦したいと思っております。また、カーボンニュートラル実現に向けて環境配慮型コンクリートや回収骨材の使用など様々な取り組みがあるなか、積極的に情報を取り入れて社会貢献に努めたいと思っております。

度試験における当協組内の合格者は6名、うち5名の方々に①合格のための苦勞談、会社・先輩のサポートについて ②若い人



岡野 暁生さん
(東京エスオーシー(株))

① 半年ほど前から、週に1回過去問を会社から配られたのでそれを解き、先輩方に採点と解説をしてもらっていました。択一問題の正答率がよくなってきてからは論文の勉強に取り掛かり何度も添削してもらいました。おかげで試験当日にスムーズに問題を解くことができました。

② 若手社員が自分のやりたいことに挑戦しやすいような環境を提供できるように努めたいです。

③ カーボンニュートラルや地球環境への貢献など、これからの生コン業界に必要な知識と技術をもっと高めていきたいです。

へ魅力ある職場づくりへの提言 ③今後、どのように資格を生かしたいか、をテーマにコメントをいただきました。



鈴木 涼太さん
(上陽レミコン(株))

① 2月ごろから勉強を開始し、毎日30分は参考書を読むこと、過去問題集を解くことを目標にしてきた。講習会には積極的に参加することを会社全体で許可してもらい、上司、先輩には日常業務のサポートをしていただいた。

② 若手の社員には、資格取得のサポートとコンクリートに関する技術や知識の効率的な継承を目指していきたい。

③ 毎日の勉強の結果としてコンクリート主任技士という資格を得ることができたので、日常の業務においても自分の知識を発揮し、自信をもってコンクリートに関わっていきたい。



2025年6月1日より職場での熱中症対策が義務化されました。本人は熱中症になっていることに気付いていないことが多いため、周りの人が異変に気付くことで重篤化を防ぐことができます。年々気温が高くなっていますので、十分な水分補給と十分な休息を取り、この夏も元気に過ごしましょう!